

帯広市は、健全な財政運営に努めています

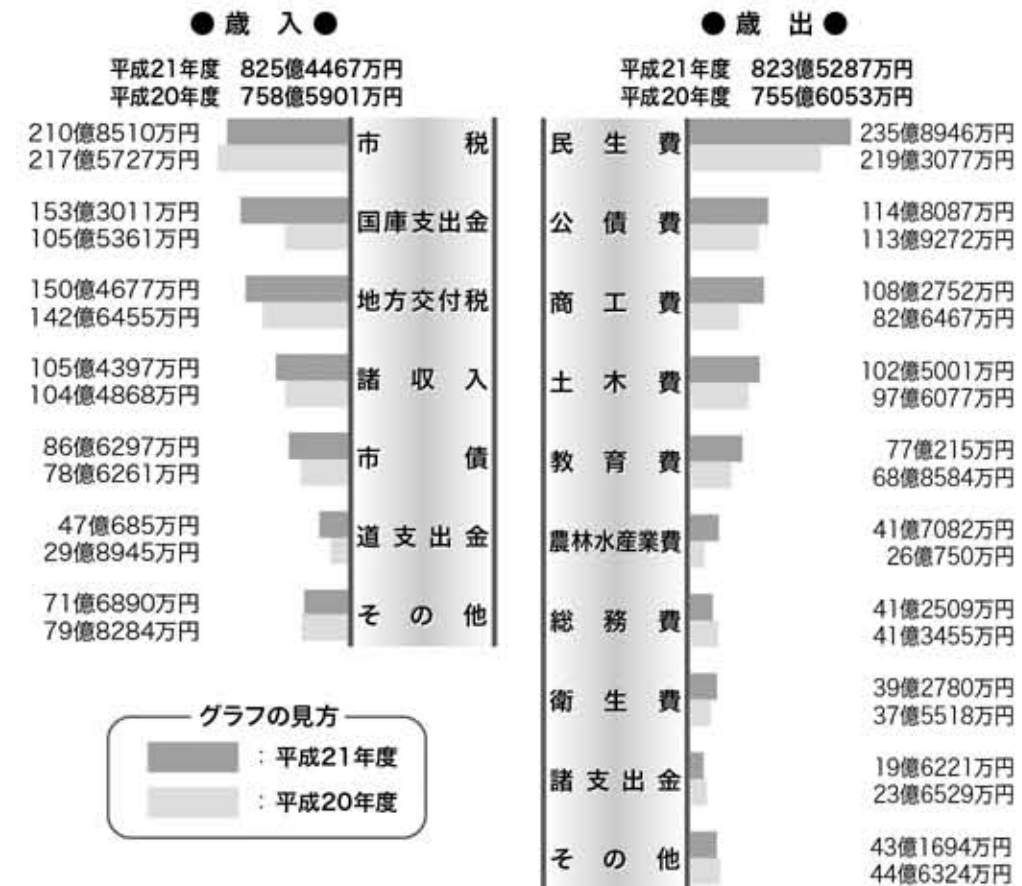
平成21年度 決算のあらまし

平成21年度の一般会計と特別会計の決算と帯広市の財政状況についてお知らせします。
決算については、9月21日から開催の定例市議会で審議されています。
▷詳細 財政課（市庁舎5階、電話65・4106）

表1 一般会計・特別会計の決算

会計区分	歳入	歳出	翌年度繰越 事業財源	実質収支
一 般 会 計	825億4467万円	823億5287万円	1588万円	1億7592万円
特 別 会 計				
国民健康保険会計	166億4971万円	170億733万円		△3億5762万円
老人保健会計	2602万円	2575万円		27万円
後期高齢者医療会計	16億405万円	15億4619万円		5786万円
介護保険会計	95億3272万円	93億9558万円		1億3714万円
中島霊園事業会計	7998万円	7998万円		
簡易水道事業会計	5546万円	5546万円		
農村下水道事業会計	1億172万円	1億172万円		
ばんえい競馬会計	110億1095万円	110億1002万円		93万円
駐車場事業会計	1億8330万円	1億8330万円		
空港事業会計	5億6356万円	5億6356万円		

図1 一般会計の歳入・歳出



※歳出の各項目には、関係する職員の給与費を含めています。

平成21年度決算

一般会計の収支

平成21年度の決算額は、歳入が825億4467万円、歳出が823億5287万円、差引額は1億9180万円となりました。この差引額には、平成21年度中に事業が完了しなかったことから平成22年度に繰り越した事業の財源である1588万円も含まれていることから、これを除いた実質的な黒字額は1億7592万円でした。（表1）

一般会計の歳入の状況

平成20年度と比較し、景気低迷の影響などにより市税が約6億7千万円減少した一方、地方交付税が約7億8千万円増加しました。また、定額給付金の支給や経済対策のため国庫支出金が増加したことから、平成21年度歳入全体では、約66億9千万円の増加となりました。（図1）

一般会計の歳出の状況

平成20年度と比較し、国民健康保険会計や介護保険会計など、10の特

特別会計の収支

市健康保険会計や介護保険会計への繰入金、生活保護費の増加などにより民生費が約16億6千万円、小麦乾燥施設建設補助などのため農林水産業費が約15億6千万円、定額給付金の支給などため商工費が約25億6千万円増加し、平成21年度歳出全体では約67億9千万円の増加となりました。（図1）

特別会計の収支

市の会計には、一般会計のほか国民健康保険会計や介護保険会計など、10の特別会計があります。

特別会計とは、保険料や使用料といった受益者が負担している収入などを主な財源としていることから、収入と支出の関係を明確にするため、一般会計と区別して経理を行っているものです。

また、このほかに、独立採算で経理を行っている、水道事業会計と下水道事業会計の2つの企業会計があります。企業会計の平成21年度決算については、8ページをご覧ください。

平成21年度に新たに実施した 主な施策とその成果

安心安全都市をめざって

- 認知症グループホームのスプリングラー設置を支援
- 農村地区に児童保育センターを開所
- 国民健康保険料督促状に納付書機能を追加
- 後期高齢者医療制度加入者対象の脳ドック、歯科ドックを実施
- 消防車両（2台）、救急車両（1台）を整備



化学消防車

会議を設置

- 開拓団地地区市街地再開発事業を支援
- 恋人の聖地として幸福駅セレモニー広場を整備



幸福駅

環境共生都市をめざって

- 環境モデル都市推進協議会を設置
- 新エネルギー利用促進事業を実施（木質ペレットストーブ燃料費支援9件、太陽光発電システム設置貸付46件など）
- 二酸化炭素排出量を売却（CO2換算74トン）
- 道路照明などの省エネルギー化（1316灯）
- 一般廃棄物最終処分場廃止基本計画を策定

表2 健全化判断比率

実質赤字比率

平成21年度	—
平成20年度	—
(「—」は黒字決算を表します)	
早期健全化基準	11.48
財政再生基準	20.00

普通会計の実質的な赤字額が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。家計簿に例えると、年間の赤字額の合計が収入の合計に占める割合になります。

連結実質赤字比率

平成21年度	—
平成20年度	—
(「—」は黒字決算を表します)	
早期健全化基準	16.48
財政再生基準	40.00

普通会計のほか、普通会計以外の特別会計や企業会計も含めて計算した実質赤字比率です。家計簿に例えると、自分の世帯のほか親や子どもの世帯を合わせた赤字額の合計が、収入の合計に占める割合になります。

実質公債費比率

平成21年度	12.1
平成20年度	12.4
早期健全化基準	25.0
財政再生基準	35.0

一般会計などが負担する長期の借入金の返済や、それに準じる支出が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。家計簿に例えると、住宅ローンなどの返済額の合計が年間の収入の合計に占める割合になります。過去3力年の平均を表しています。

将来負担比率

平成21年度	117.9
平成20年度	114.0
早期健全化基準	350.0

一般会計などが抱える実質的な負債の残高が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。家計簿に例えると、住宅ローンなどの借入金の残高が、現在の収入を基準に考えて、何年間で返済できるかを示す割合になります。

表3 平成20年度帯広市普通会計貸借対照表

◇資産の部 (これまで積み上げてきた資産)			◇負債の部 (将来世代が負担する金額)		
1 金融資産	(1)資金	2億9848万円	1 流動負債	(1)賞与引当金	6億3700万円
	(2)債権 未収金、貸付金など	34億9969万円		(2)地方債（短期） 翌年度償還予定地方債	99億1371万円
	(3)有価証券	2億8156万円	2 非流動負債	(1)地方債	867億3202万円
	(4)投資等 出資金、基金・ 積立金など	169億1715万円		(2)借入金	6億9766万円
				(3)退職手当引当金	149億4028万円
2 非金融資産	(1)事業用資産 庁舎、学校、保 育所、体育施設、 市営住宅など	1398億702万円	負債合計		1129億2067万円
			◇純資産の部 (現在までの世代が負担した金額)		
	(2)インフラ資産 道路、公園など	2210億3902万円	純資産合計		2689億2225万円
資産合計		3818億4292万円	負債・純資産合計		3818億4292万円

帯広市の財政状況は、平成19年度決算から、普通会計※1による数値の公表だけではなく、自治体全体の財政状況を把握しその状況を明らかにするため「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」によって、実質赤字比率など4つの指標を公表することが義務付けられました。(表2)

※1 普通会計
全国の自治体と比較するための会計の区分で、帯広市では一般会計に中島霊園事業会計と空港事業会計を加えたものです。

※2 早期健全化基準
4つの健全化判断比率のうち一つでも早期健全化基準を上回ると、財政健全化計画を定め、財政の健全化に取り組まなければならない。財政破たんとならないように設けられた危険水準を表したものとします。

りやすく説明することがより求められています。こうした状況の中、企業会計の考え方に基き、発生主義、複式簿記を導入した新たな地方公会計制度が導入され、従来の決算書に加え、「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計画書」の4つの財務諸表の整備が求められることになりました。

◆貸借対照表から見た状況
貸借対照表は、市が所有している施設などの資産価値やこれから返済しなければならない地方債などの負債がどのくらいあるのかを一目で対比することができま。す。(表3)

表4 貸借対照表の資産などを市民1人当たり換算(人口:168,532人)

	市全体	市民1人当たり
資産	3818億4292万円	227万円
負債	1129億2067万円	67万円
純資産	2689億2225万円	160万円

(表4)
また、総資産のうち現在までの世代が負担した純資産の割合は約70%となっていますが、将来の世代が負担しなければならない負債も約30%残っています。

- 生涯学習都市をめざして
- 活力ある学校づくり支援事業を実施
 - 学校給食充実のため給食費を改定
 - 小中学校の教育環境を整備(パソコン、地上デジタル対応テレビ、理科教材の配備など)
 - 学校での環境学習の充実
 - 豊成小学校移転改築に向け調査設計を実施
 - 南商業高校の教育環境を整備(パソコン、地上デジタル対応テレビ、理科教材の配備など)
 - 児童会館に電子顕微鏡、高速度カメラを導入
 - 動物園正門の整備



除雪グレーダーとロータリー除雪車

- 自主・自治のまちづくりをめざして
- (仮称)西地区福祉センターを建設(平成21年、22年)
 - 保育料のコンビニ収納を開始
- 広域連携都市をめざして
- 空港の航空灯火無停電化に向け実施設計
 - 帯広市地域公共交通活性化協議会実施事業を支援
 - マディソン市の環境に対する先進的取り組みを調査研修
- 明治北海道十勝オーバル
- 明治北海道十勝オーバルを小中学校授業に開放
 - スピードスケート国際大会を開催(2大会)
 - DV防止講演会の開催



明治北海道十勝オーバル

- みどりの親善訪問団を大分市へ派遣
 - 住宅サポート事業実施に向け調査検討
 - 自転車・歩行者道ネットワーク計画策定に向け調査検討
 - 除雪グレーダー、ロータリー除雪車増車(各1台)
- 修
- 百年記念館の2号室を改修
 - ふるさと公演の開催
 - 劇団四季の公演に小学6年生を無料招待
 - 市民文化ホールの小ホール舞台機構などを改修
 - 明治北海道十勝オーバルを開館